

内容は水産研究課ホームページでも公開しています。
更新は、原則として火曜日夜間におこないます。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

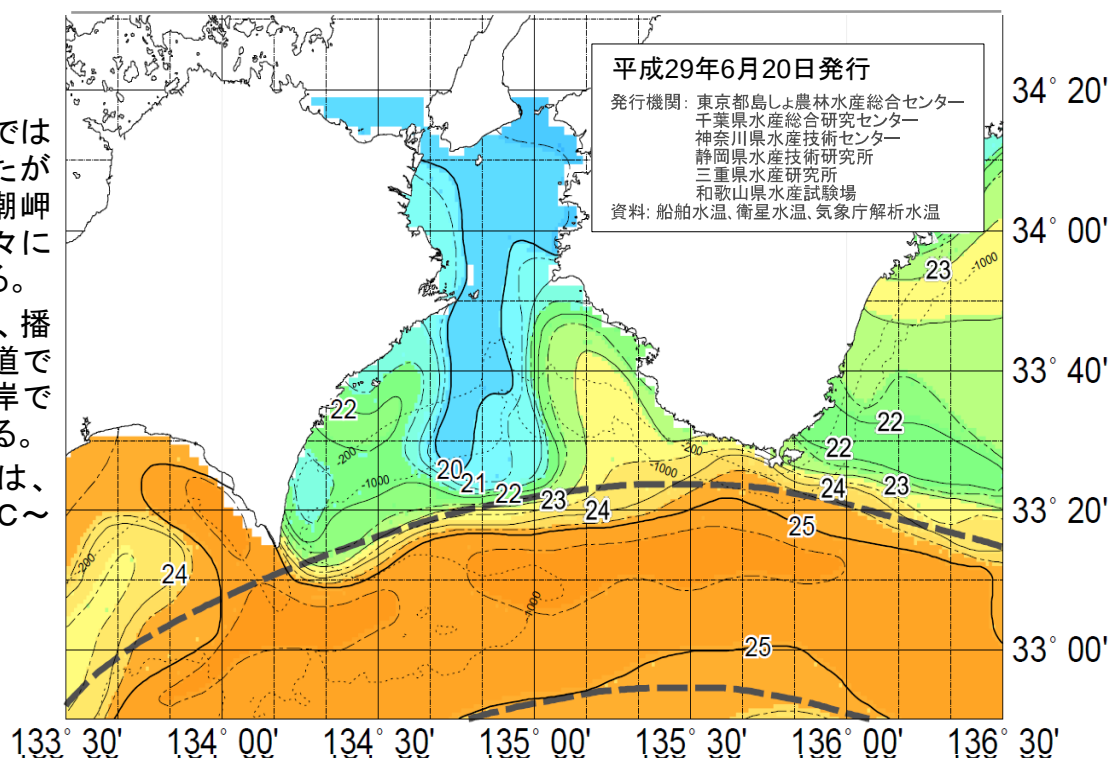
海況

1. 周辺海域の水温

黒潮位置は、室戸岬沖では一時「やや離岸」となったが20日時点では「接岸」、潮岬沖では前号時点から徐々に北上し「接岸」となっている。

徳島県沿岸の水温は、播磨灘で19℃台、紀伊水道で19℃～20℃台、海部沿岸で20℃～22℃台となっている。

黒潮本流の表面水温は、平年並みかやや低い23℃～25℃台となっている。

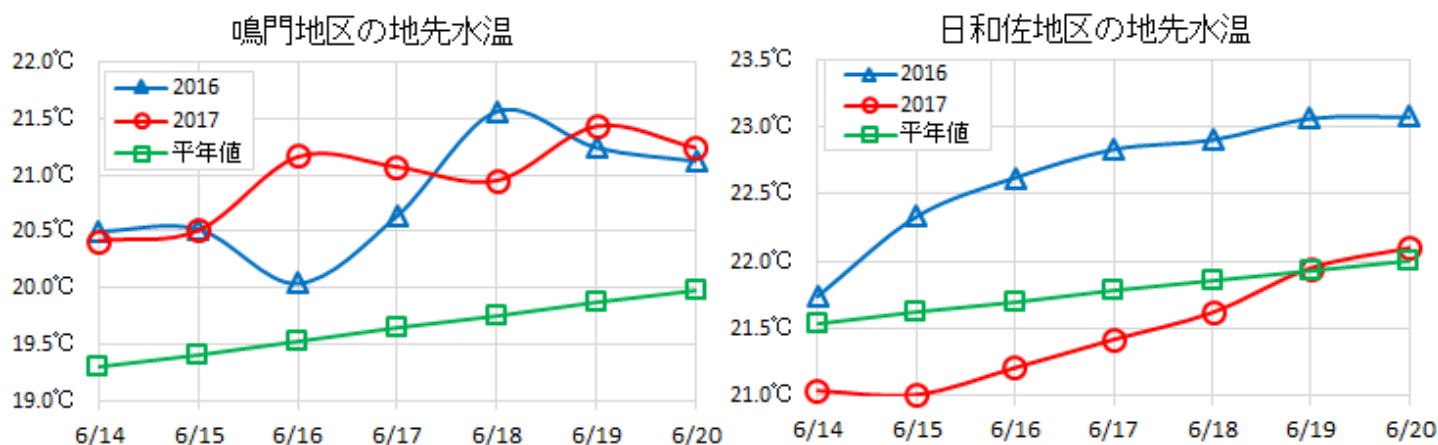


海況図は、平日夕方に水産研究課HPの「地先水温情報」のページに、前日分と当日分を掲載しています。

2. 地先水温(6月14日～6月20日)

鳴門地区の地先水温は、「やや高め」～「高め」の20.4℃～21.2℃で推移した。

日和佐地区の地先水温は、おおむね「平年並み」の21.0℃～22.1℃で推移した。



※水温の高低 平年並：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 鳴門地区：1981年～2015年の平滑平均値、日和佐地区：1982年～2015年の平滑平均値

3. 週間予報(6月21日～6月27日)

黒潮は、室戸岬、潮岬沖とも「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門では「やや高め」の21℃台、日和佐地区では「平年並み」か「やや低め」の22℃台で推移する見込み。

1. 紀伊水道(標本漁協数:3)

釣りでは、タチウオが大きく増えて特大主体に0.2ト水揚げされた。

延縄では、ハモが増えて9.2ト、タチウオが増えて特大主体に0.5ト水揚げされた。

小型定置網では、ブリが大きく増えてめじろ主体に1.5ト、マアジが小小主体に前週並みの1.4ト水揚げされた。

底びき網では、ハモが前週並みの2.8ト水揚げされた。

2. 海部沿岸(標本漁協数:4)

釣りでは、カツオが増えて0.3ト水揚げされた。

延縄では、アカムツが大きく増えて1.2ト水揚げされた。

小型定置網では、いわし類が大きく減ってウルメイワシ主体に3.4ト、マアジが増えて1.2ト水揚げされた。

大型定置網では、マアジが増えて小小主体に18.3ト、いわし類がマイワシ主体に9.2ト水揚げされた。

漁獲量集計表(漁獲が0.2ト以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	135	シラス	87,750	650		↗
	釣り	29	タチウオ	243	8	特大主体	↗↗
	延縄	90	ハモ	9,209	102		↗
			タチウオ	506	6	特大主体	↗
			ゴマサバ	209	10	大主体	↘
	小型定置網	11	ブリ	1,494	136	めじろ主体	↗↗
			マアジ	1,360	41	小小主体	→
			イサキ	308	21	小小主体	↗
			カワハギ	214	6	大主体	↗
	底びき網	46	ハモ	2,777	60		→
			タチウオ	247	8		↗↗
			えそ類	234	8		↗
海部沿岸	釣り	8	カツオ	288	36		↗
			イサキ	215	6		↗↗
	延縄	61	アカムツ	1,190	20		↗↗
			えそ類	244	10		↗
	小型定置網	35	いわし類	3,408	97	ウルメイワシ主体	↘↘
			マアジ	1,241	31		→
			ケンサキイカ	289	14	小小主体	↗↗
			かます類	271	10	小小主体	↗↗
			イサキ	249	31		↗↗
			とびうお類	234	7		→
	大型定置網	6	マアジ	18,291	3,048	小小主体	↗
			いわし類	9,211	1,501	マイワシ主体	→
シイラ			532	89	小主体	↘↘	
ケンサキイカ			488	81	小小主体	↗↗	
マルアジ			425	71		↗	
シロサバフグ			402	67	中主体	↘	
ブリ			322	54	つばす主体	→	
イサキ	258	43		→			

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘